



感染防止対策が一目で分かるピクトグラム!

日本語と英語の
説明も併せて
伝えます!

宿泊施設や飲食店など、県内事業者の皆さんが取り組む新型コロナウイルス感染防止対策がお客さんに一目で伝わるように、ピクトグラム(絵文字)を作成しました。マスク着用や消毒液の設置、キャッシュレス決済や人数制限などをシンプルなイラストで表現。ピクトグラムは佐賀県観光連盟のホームページから無料でダウンロードできます。また、全24種類のピクトグラムがあり、取り組み内容に応じて組み合わせるポスターが作れるテンプレートもあります。自由にアレンジして、それぞれの事業者が取り組む感染防止対策の紹介にご活用ください。

あそび-さが ピクトグラム 検索

「みどりの愛護」で大臣表彰を受賞しました!

花と緑の愛護活動に努める団体を表彰する、第31回「みどりの愛護」功労者国土交通大臣表彰を「SAGA森の案内人クラブ」(佐賀市)が受賞しました。同クラブは平成23年に発足し、21世紀県民の森やその周辺を中心に、月に1度、緑地の手入れを行っています。また、自治体や企業主催の植樹イベントで、枝打ちや植樹の指導を担うなど緑化啓発にも取り組んでいます。

クラブをとりまとめる西村さんは、「活動を続けていくことが森を守ることにつながる。若い人にも興味を持ってもらいたい」と話します。



活動を通じて子どもたちへ
森林の役割や自然の大切さを伝えます!

4

子どもが憧れる夫婦になろう!

PAPAシンポジウムをライブ配信します

子育てし大層
「さが」

10/31(土)
14:00~15:15

佐賀県知事とのPAPAシンポジウム

パネリスト



佐賀新聞に子育ての
コラムを寄せるパパ記者
片桐 亮さん
(いまパパ、代表)



佐賀県知事
山口 祥義



仕事と育児を両立する
2児のママ
優木 まおみさん

先着100名
(要事前登録)

シンポジウムで質問、相談
をしたい方を募集中!
※「Zoom(オンライン会議シ
ステム)」が利用できる方

申し込み方法など
詳しくはコチラ▶



働きたいママも
応援しています!

「さがママワークプロジェクト」がスタート!

働きたい子育て世代のママと企業をつなぐプロジェクトです。ホームページでは、県内の求人情報をはじめ、「働きたい」をサポートするコラムなど、さまざまな情報を発信しています。また、11月にはオンライン上で就活フェスタも開催しますので、ぜひご参加ください。



詳しくは [シンポジウムについて] 男女参画・女性の活躍推進課 ☎0952(25)7062 ✉ danjo-katsuyaku@pref.saga.lg.jp
[さがママワークプロジェクトについて] 産業人材課 ☎0952(25)7310 ✉ sangyoujinzai@pref.saga.lg.jp

5

10月27日~11月9日は読書週間

読書の秋を県立図書館で楽しもう!



県立図書館のココが魅力!

- ▶ 読みたい本を県内外から探します。
- ▶ 調べものには、司書が相談にのります。
- ▶ 国内で出版される新刊児童書のほとんどすべてが揃っています。
- ▶ 「佐賀」を学べる資料が豊富にあります。

開館時間 9:00~20:00
※児童図書閲覧室 10:00~17:00
ところ 佐賀市内

おおくしりょうへい 大串 亮平 日本画展

10月1日(木)~27日(火)

県内の若手芸術家の作品を展示するシリーズ第2弾。掛け軸や屏風などを各フロアに展示します。



「無関心」

令和2年度 読書推進運動県大会

10月30日(金) 10:00~11:30
優良読書グループの表彰と講演会を行います。
※混雑防止のため、人数制限を設ける場合があります

本のリサイクルフェア

11月1日(日) 9:00~12:00
リサイクル本をご希望の方に
無料でお譲りします。
※配布する本が無くなり次第終了

家で過ごす時間が増えた今だからこそ、ゆっくり読書を楽しんでみませんか。図書館の魅力は、新旧問わずさまざまなジャンルの本が揃っていること。県立図書館でも、季節やテーマにあわせたおすすめ本の展示や、子どもたちへ読み聞かせを行う「おはなし会」を定期的に開くなど、多様な本と出会える環境づくりに努めています。
本を読むことで知的好奇心が刺激され、心の豊かさにつながります。涼しい秋の夜長に、本の世界に浸ってみませんか。

詳しくは 県立図書館 ☎0952(24)2900 ✉ saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp ホームページはコチラ▶



ネクストジェネレーション

NEXT GENERATION

未来へ羽ばたく若者たち



やない てっぺい
梁井 鉄平さん

1996年、東京生まれ。服飾の専門学校を卒業後、2018年に基山町にある祖父宅を改修してアトリエをオープン。オリジナルパレルブランド「-841-」の服はすべてがオーダーメイド。専門雑誌に取り上げられるなど関係者の注目も高い。

着心地とそのらしさを追求した服づくり

着心地の良い服づくりにこだわり、デザインから生地選び、縫製、販売まで全てを行う梁井さん。「New Vintage(古き良さが新しい)」をコンセプトに、古着から学んだ技術や仕組みを盛り込んで仕上げた服は20代から70代まで幅広い年代に愛されています。

「なんとなく服に感じている不満を要望として叶え、お客様の『欲しい』の声に応えるのは楽しいです。自分のために作られた服をぜひ普段使いしてもらいたいですね。今後は、縫製教室やファッションを学べる場も提供したいです」とこやかに語る梁井さん。

地域の職人とコラボして、酒袋や革を用いた服やエプロンを作るなど創作の幅を広げています。

-841-(ハチヨンイチ)
基山町宮浦188
☎080(2375)7771



Instagram



数ミリ単位でオーダーに合わせる梁井さん



築150年のアトリエに並ぶオリジナルデザイン